

# 2026 年度卒業論文等の提出について

標記のことについて、4 年次学生で 2026 年度卒業論文提出資格者（2027 年 3 月卒業予定者）は、次の 1. 2. のいずれかの手続きを必ず行うこと。現時点における対象者は、2026 年 5 月 1 日付け、次のとおり掲出済みのこと。（読み取りパスワードは、学生証番号の上 2 桁の数字。）

<https://www.p.u-tokyo.ac.jp/students/wp/wp-content/uploads/2026/05/20260501-1.pdf>

※ 上記対象となっていない 4 年次学生は、自動的に卒業延期の手続きが行われることになる。（ただし、今年度で在学年限に達する者を除く。）

## 1. 卒業論文を提出する者

提出物	提出期間・方法等
「卒業論文題目」 「宣誓書」 「学位記記載事項等確認」 「承諾書」	2026 年 11 月 24 日(火)10:00～12 月 1 日(火)16:30 【期限厳守】 ・ UTOL に WEB 入力すること。 ・ コース主任またはコース教員の承認を得た上で、提出を行うこと。 ・ 「卒業論文題目」は、コース教員の十分な指導を受け、確定したのものについて、提出を行うこと。 －今回提出後、「卒業論文題目」を変更することはできないので、十分注意すること。 －今回提出を行う「卒業論文題目」と、以降提出を行う「卒業論文」「卒業論文要旨」は、一字一句、完全に同一の表記とすること。
「卒業論文」	2027 年 1 月 4 日(月)10:00～1 月 7 日(木)16:30 【期限厳守】 ・ 電子ファイル (PDF ファイル) を UTOL にアップロードすること。
「卒業論文要旨」	2027 年 1 月 4 日(月)10:00～1 月 8 日(金)16:30 【期限厳守】 ・ 電子ファイル (PDF ファイル) を UTOL にアップロードすること。

## 2. 卒業を延期する者

提出物	提出期間・方法等
「卒業延期届」	2026 年 11 月 24 日(火)10:00～12 月 1 日(火)15:00 【期限厳守】 ・ 在学生向け Web サイトより様式をダウンロード、必要事項を記入、コース主任またはコース教員の承認印を受けた上で、教育学部学生支援チーム窓口へ提出を行うこと。 <a href="https://www.p.u-tokyo.ac.jp/students/procedure/undergraduate-form/">https://www.p.u-tokyo.ac.jp/students/procedure/undergraduate-form/</a> ・ 今年度で在学年限に達する者は、「卒業延期届」の提出を行っても卒業を延期することはできないので、十分注意すること。

2026 年 5 月 1 日  
教育学部学生支援チーム

## 提出方法等の詳細について

(0) はじめに

- ・各提出期限は、厳守となる。
- ・各提出物について、提出期限後の差替・修正等は一切認められない。
- ・『信頼される論文を書くために (第4版)』を、熟読すること。

[https://www.p.u-tokyo.ac.jp/students/wp/wp-content/uploads/2026/03/manual\\_oct2023.pdf](https://www.p.u-tokyo.ac.jp/students/wp/wp-content/uploads/2026/03/manual_oct2023.pdf)

・教育学部便覧、197 ページの『教育学部規則第 15 条～第 18 条』、229～230 ページの『卒業論文関係について』を、確認すること。

<https://www.p.u-tokyo.ac.jp/students/wp/wp-content/uploads/2026/03/20260319undergraduate.pdf>

・「卒業論文要旨」を伴わない「卒業論文」は、論文審査の対象とはならないので、必ず両方の提出を行うこと。

(1) 2026 年度卒業論文口述試験日程等

- ・卒業論文口述試験受験者（「卒業論文」及び「卒業論文要旨」の提出者）は、次表のとおり、対面（講義室等）で受験する必要がある。ただし、対面受験ができない真にやむを得ない事由を有する（学校保健安全法施行規則に規定のある新型コロナウイルス感染症に罹患等、又は海外留学中の場合）場合には、オンライン（Zoom）での受験を許可するので、コース事務室に事前連絡の上、指示を受けること。
- ・卒業論文口述試験受験者以外（3 年生及び 4 年生のうち卒業論文を提出しなかった者）は、次表のとおり、対応すること。
- ・卒業論文要旨については、電子媒体のみの配付とする。（2027 年 1 月下旬頃、在学生向け Web サイトに掲出を行う。）

コース	日時	講義室等	卒業論文口述試験受験者以外（3 年生及び 4 年生のうち卒業論文を提出しなかった者）の出席等
基礎教育学	2027 年 2 月 5 日(金) 13:00～16:30	赤門総合研究棟 2 階 A200	原則、対面（左記講義室） で出席すること。
比較教育社会学	2027 年 2 月 5 日(金) 10:00～17:00	教育学部棟 3 階 301	出席不要。
教育実践・政策学	2027 年 2 月 8 日(月) 09:00～17:00	赤門総合研究棟 2 階 A200	原則、対面（左記講義室） で出席すること。
教育心理学	2027 年 2 月 8 日(月) 10:00～18:00	教育学部棟 1 階 158	原則、対面（左記講義室） で出席すること。
身体教育学	2027 年 2 月 5 日(金) 09:00～17:00	教育学部棟 1 階 109/159	原則、対面（左記講義室） で出席すること。

※コースにより日程が異なるので、十分注意すること。

## (2)「卒業論文題目」

●「卒業論文」が和文の場合には和文とする。「卒業論文」が英文の場合には英文とするが、題目の下に括弧で和訳を付けることもできる。

- ・コース主任またはコース教員の承認を得た上で、提出を行うこと。
- ・コース教員の十分な指導を受け、確定したものについて、提出を行うこと。  
－今回提出後、「卒業論文題目」を変更することはできないので、十分注意すること。  
－今回提出を行う「卒業論文題目」と、以降提出を行う「卒業論文」「卒業論文要旨」は、一字一句、完全に同一の表記とすること。
- ・その他、注意事項は、次のとおり。
  - －全体に、「」等につけないこと。
  - －□ □ □ □ □ の有無に至るまで検討すること。
  - －題目が和文のみで副題がある場合、改行の上、－□□□□□－ とすること。(－は、全角ダッシュ記号1つとすること。)
  - －題目が英文で副題がある場合、主題の後ろに半角コロンと半角スペースを入れ、続けて副題を記載することを基本とする。また、英文の題目の下に括弧で和訳を付ける場合、和訳部分の副題の表記については、題目が和文のみで副題がある場合の取扱いを基本とする。(ただし、コースまたは分野により、当該部分を含めた英文の表記や英文の題目の下に括弧で和訳を付ける場合の表記など、細かい取扱いが異なっている場合があるため、最終的には、コース主任またはコース教員に確認の上、承認を得たものを提出すること。)

参考例：題目が英文で副題があり、かつ、和訳を付ける場合。

\*\*\*\*\*Title\*\*\*\*\*. \*\*\*\*\*Subtitle\*\*\*\*\*

(○○○○主題○○○○

－□□□副題□□□－)

- －上記は、卒業論文の表紙に記載する題目の副題に係る取扱いを明記したものであること。(別途、研究業績等に記載する場合には、これに縛られなくてよいこと。)

### (3) 「卒業論文」「卒業論文要旨」

	提出媒体・部数
「卒業論文」	電子ファイル (PDF ファイル) ・ 1 部
	<p>●<u>和文又は英文のみとすること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コース主任またはコース教員の承認を得た上で、提出を行うこと。</li><li>・電子ファイルは、必ずPDFファイルで提出すること。</li><li>・電子ファイル (PDF ファイル) 名は、卒業論文・学籍番号・学生氏名とすること。 &lt;例&gt;卒業論文・09259999・本郷弥生.pdf</li><li>・本PDFファイル・5ページ、表紙見本 (卒業論文) を参照の上、作成すること。 -1ページ目 (表紙) には、卒業論文題目、所属学科・専修・コース及び学生氏名を記入すること。</li></ul>
「卒業論文要旨」	電子ファイル (PDF ファイル) ・ 1 部
	<p>●<u>「卒業論文」が和文の場合には和文、英文の場合には英文とすること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コース主任またはコース教員の承認を得た上で、提出を行うこと。</li><li>・電子ファイルは、必ずPDFファイルで提出すること。</li><li>・電子ファイル (PDF ファイル) 名は、卒業論文要旨・学籍番号・学生氏名とすること。 &lt;例&gt;卒業論文要旨・09259999・本郷弥生.pdf</li><li>・本PDFファイル・6ページ、見本 (卒業論文要旨) を参照の上、作成すること。 -2ページ (ページ数厳守)、和文の場合には2,000字前後、英文の場合には1,000語前後を目安とすること。(上下左右の余白は、20mm程度とすること。) -1ページ目には、卒業論文題目、所属学科・専修・コース及び学生氏名を、バランスを考慮して5行目までに記入、本文は6行目から記入すること。 -2ページ目は、1行目から本文を記入すること。</li><li>・冊子「卒業論文要旨」について。 -提出のあった全ての学生の「卒業論文要旨」を原稿として、冊子 (電子ファイル) を作成する。当該冊子 (電子ファイル) は、本学部全ての学生に配布する。 -併せて、関係事務室等の保管用として、冊子 (紙媒体) も作成するが、当該冊子 (紙媒体) に掲載される際はモノクロとなるので、図表等を用いる場合は注意すること。</li></ul>

### (4) その他

- ・上記、UTOLによる提出方法の詳細については、2026年10月下旬頃、別途掲出を行う。

教育学部学生支援チーム

E-mail [gakuseishien.p@gs.mail.u-tokyo.ac.jp](mailto:gakuseishien.p@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

TEL 03-5841-3907

卒 業 論 文

人 間 の 教 育

－ 現代社会における教育の課題 －

総合教育科学科

基礎教育学専修 基礎教育学コース

本 郷 弥 生

